

## 令和6年度 市立学校児童・生徒を対象とした 「人権キャラバン」の実施について

### 1 目的

人権問題について考える機会を通じて、命の尊さや思いやりの心などの人権尊重意識を養うことを目的として、人権擁護委員が児童・生徒に直接語りかける「人権キャラバン」を実施する。



〔人権啓発冊子「人権の擁護」より〕

「人権」は、誰でも心で理解し、感じることのできるものです。しかし、現実の社会では、いじめや虐待等によってこどもの命が奪われることや、インターネット上に個人の名誉やプライバシーを侵害したり、差別を助長したりするような投稿がされることがあります。また、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見、部落差別（同和問題）やハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。どうすればこのようなことをなくせるでしょうか。

「人権擁護委員」は、法務大臣が委嘱した民間のボランティアの方々です。人権擁護委員制度は、様々な分野の方々が、地域の中で人権尊重思想を広め、住民の人権が侵害されないように配慮し、人権を擁護していくことが望ましいという考えから創設されたものであり、こうした官民連携の取組は、諸外国でも例を見ないものです。現在、横浜市には、89名の委員が配置され、積極的な活動を行っています。

### 2 対象者

市立小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の児童・生徒

### 3 主催

横浜人権擁護委員協議会

### 4 窓口

横浜市市民局人権課

### 5 開始時期

令和6年4月以降

### 6 実施内容

対象となる児童・生徒によりDVDを選択し、DVD視聴と感想・話し合いを実施する。

(1) 実施（方法）例（1時限単位：45分程度）

- ① 人権擁護委員の自己紹介、活動紹介、作品紹介など（10分程度）
- ② DVD視聴（15分程度）
- ③ DVDの感想・まとめ（20分程度）

## (2) キャラバン使用DVD一覧

### 【対象学年表】

作品名	低学年	中学年	高学年	中学生	YouTubeでの視聴
ぐらぐらもりのおばけ	◎				×
世界をしあわせに	◎				○
ずっとともだちでいたいから	◎	○			×
勇気のお守り	△	◎	○		○
プレゼント		◎	◎		×
みんなのヒーロー		○	◎	◎	○
電車内に咲いた、笑顔の花			○	◎	○
いじめをなくすために、今			○	◎	○
リスペクト アザース			△	◎	○
ウイルスよりも怖いもの				◎	○

( ◎最適 ○適 △良 )

## (3) 使用DVD

### ●DVD (紙芝居をパワーポイントにしたもの) 「ぐらぐらもりのおばけ」(15分程度)

すべての人が幸せになることを願い、旅をしている人KENまもる君と人KENあゆみちゃんの物語です。よわいものいじめやうそをついてはいけないということを理解してもらうことを目的としています。



### ●DVD「世界をしあわせに」(15分程度)

世の中のすべての人が幸せになることを願い、旅をしている心優しい人KENまもる君と人KENあゆみちゃん。

食べ物をとおして、好き嫌いをしないことにより、相手の良いところを見つけることができ、新しい発見があるということを教えてください。



● DVD（紙芝居をパワーポイントにしたもの）  
「ずっとともだちでいたいから」（10分程度）

いじめの認識がなく遊びの延長であっても人を傷つけることは「ぜったいにしてはならない」ということをわかりやすく伝え、相手の気持ちになって思いやりのところをもつことが必要だと気付いてもらうことを目的としています。



● DVD「勇気のお守り」（15分程度）

転校生へのいじめがテーマとなっています。

いじめの解決と、子どもたちに「一人ひとりが大切な存在なんだ」と気付いてもらい、人権尊重意識を養うことを目的としています。



● DVD「プレゼント」（15分程度）

いじめという行為を例に、登場人物それぞれの気持ちを考えることを通じて、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養うことを目的としています。



● DVD「みんなのヒーロー」（7分程度）

全国中学生作文コンテスト入賞作品を、中学生（当時）でもある著名人による朗読とアニメーションで紹介します。

乗客のおじさんが困っているおばあさんに「手伝います」とさりげない行動を起こし、おばあさんを助けたことにより、勇気ある行動と優しく見守ることが、優しい社会づくりの第一歩だと作者は気付きました。



● DVD 「電車内に咲いた、笑顔の花」  
(10分程度)

全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を、中学生(当時)でもある著名人による朗読とアニメーションで紹介します。

勇気を出しておばあさんの手助けを決意した作者の行動が、周囲の人々に影響を与え、配慮ややさしさのあふれる花咲く空間を生み出し、ためらったことについて振り返り、ためらいを越えて行動を起こすことの意義について訴えています。



「電車内に咲いた、笑顔の花」

● DVD 「いじめをなくすために、今」(15分程度)

人権作文コンテスト入賞作品作者の中学生が、自らの重い体験を通して、命の大切さを知り、いじめを傍観することをやめた経験を振り返ります。



● DVD 「リスペクト アザース」(15分程度)

人権作文コンテスト入賞作品作者の中学生が、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。人権への気づきを促すことを目的としています。



● DVD 「ウイルスよりも怖いもの」(8分程度)

全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を、中学生(当時)でもある著名人による朗読とアニメーションで紹介します。

コロナウイルスによる感染症の拡大のなか、「他県ナンバー狩り」の報道に疑問を抱き、思い出したのはハンセン病施設で学んだことでした。

尊重し合うためには何が大切かを考え、人権に対する気づきを促すことを目的としています。



※特別支援学校の使用DVDは、担当の人権擁護委員と相談のうえ決定します



人KENあゆみちゃん



人権イメージキャラクター



人KENまもる君